

【IPv6によるインターネットの利用高度化に関する研究会】プレゼン資料

HGWへのPPPoE方式アダプタ機能 一体化協議の内容及び今後の課題

2013年5月23日
一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会

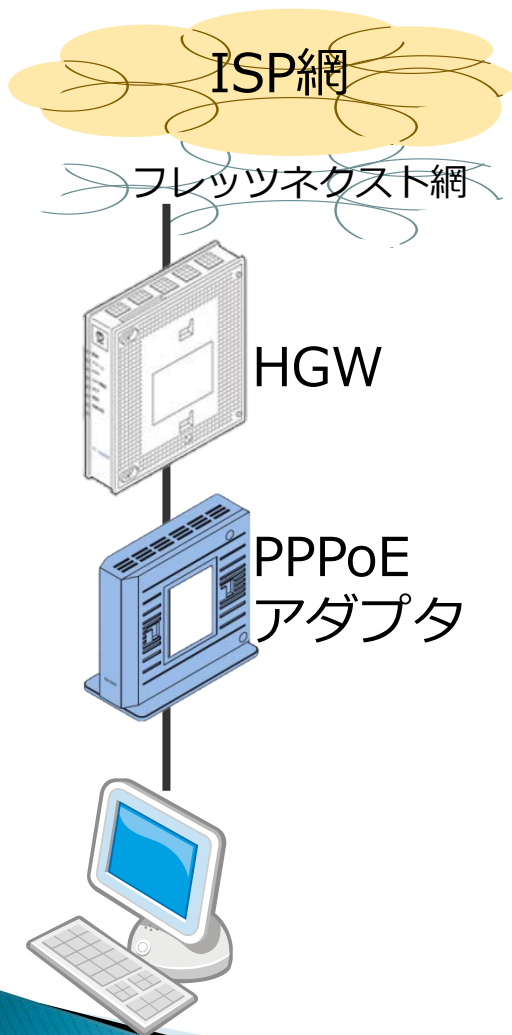
PPPoE方式普及拡大の課題

- ① ユーザ宅内にPPPoEアダプタ機器が必要
- ② PPPoEアダプタへの接続設定が必要

利用者負担の軽減のためには

- ・ アダプタ機能をHGWに内蔵(一体化)
- ・ 接続設定を自動化

が必要



総務省の研究会の重点課題



「IPv6によるインターネットの利用高度化に関する研究会～第三次報告書プログレスレポート」（2012.7.31公表）

今後の重点課題とその対応方策

7

- 今回のフォローアップを踏まえた、IPv6インターネット接続サービスの利用拡大の加速化に向けた、今後の重点課題とその対応方策は以下のとおり。進捗状況について情報共有を図りつつ、関係者間で協力しながら一層の取組を進めることが重要。

分類		今後の課題とその対応方策
PPPoE方式 (トンネル)	利用者負担の軽減 (アダプタ機器)	NTT東西 ・アダプタのHGWへの一体化 等 ISP ⇨ JAIPAとNTT東西は協議を開始済。本年度中に導入方法・スケジュール等を明確化。

JAIPAとしての対応



- ▶ JAIPA NGN-WG内でNTT東西協議を再開 (2012.5)

- ▶ PPPoE-SWGの活動開始(NGN-WGの下部WGとして発足)
 - 発足：2012/11/21
 - 主査：外山(NTTコム)、副主査：菊池(So-net)
 - NGN-WG内で周知し参加ISPを募る
 - ISP 9社が参加し既に約20回実施
 - 朝日ネット、イー・アクセス、NTTコム、NTT-PC、NTTぷらら、ソニービジネスソリューション、So-net、ソフトバンクテレコム、TOKAIコミュニケーションズ (+JAIPA事務局)

HGWへのアダプタ機能内蔵を協議

NTT東西とJAIPAの合意(2013年3月)



HGW(一部既存機種・次世代機種)に、平成25年度末より
PPPoEアダプタ機能を搭載することを基本合意

- HGWのファームウェアを自動で更新
対象機種をお持ちのお客様は機器交換不要
- IPv6に関する設定は自動的に実施
お客様での設定作業も不要
- HGWのPPPoEアダプタ機能を利用するISPはNTT東西と個別に契約
- 各ISPはISPユーザ数に応じて負担を按分

5/28にISP向け説明会をNTT東西/JAIPAで共催

今後の課題

- ▶ HGWを持たない利用者へのIPv6インターネット接続提供など、より広くIPv6を利用できる方法の検討を進めていきたい
- ▶ Bフレッツやフレッツ光プレミアム利用者へのIPv6インターネット接続提供については、お客様への影響が出ないように、NTT東西とISP事業者と連携して進めていきたい